

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年9月24日

事業者名: 株式会社加納

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
				指標	目標
環境	従来のタイルのように化石燃料を使って二酸化炭素を排出しながら製造するのではなく、二酸化炭素を吸収して固化するタイル、テラウェルを開発。脱炭素社会の実現に貢献していく。	⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的な対策を	二酸化炭素で固化するタイルへの転換によりCO2排出量を令和5年度は4年度に比べ97%削減。	指標	二酸化炭素排出量
				目標	二酸化炭素排出量を2030年度までに令和5年度比42%削減。
社会	持続可能な製品を通じた地域貢献 TerraWellのような環境に配慮した製品を通じて、地域社会に持続可能な生活を提供しています。特に、地元企業との協力関係を築き、地域内での製品使用の推進や、教育機関との連携を強化することで、地域経済の発展と環境保護を同時に実現しています	⑫つくる責任 つかう責任, ⑰パートナーシップで目標を達成しよう	私たちは、すでに同業の1社とアライアンスを組み、製造委託契約を結んでいます。このパートナーシップにより、持続可能な製品であるテラウェルの製造規模を拡大し、地域社会や環境への貢献を強化しています。また、地元企業との協力関係を通じて、地域での持続可能な生活環境の構築にも寄与しています。	指標	地元企業とのアライアンス数
				目標	アライアンスを組む企業数を毎年最低1社程度増やしていく
経済	環境に配慮した製品の販売拡大 テラウェルを通じて、新しい市場の開拓や既存市場でのシェア拡大を目指しています。この製品は、環境負荷を軽減しながら経済的利益を生み出すことができ、SDGsの目標12「つくる責任、つかう責任」に沿ったビジネスモデルの確立を目指しています。	⑫つくる責任 つかう責任	令和6年度から発売を開始、本年度は500㎡を出荷予定。	指標	出荷数 (㎡)
				目標	2030年度までの年間10万㎡を出荷できるように生産体制を整えていく。
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 社内のデジタルプラットフォーム(Desknet's)を通じて、SDGsに関連する活動や進捗状況を全従業員に随時共有しています。これにより、全社員が常に目標に向けた最新情報を把握し、各自の役割に応じた取り組みを行えるようにしています。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ショールーム及び事務所の掲示板において3側面の重点的な取り組みを掲示しています。また、現在ホームページを改修中で、当該情報を発信するコーナーを設置予定です。			